



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 3783 号 2017.7.21 発行

手足口病が大流行のおそれ 対策は？



NHK ニュース 2017年7月19日

「子どもの手や足にぶつぶつが…」
「ごはんを食べる時に痛がる！」こんな症状が出る「手足口病」。ことしの5月、6月ごろから患者が増え、この夏、大流行のおそれがあるといわれています。高熱やおう吐、頭痛などの症状が出た場合は要注意。すぐにお医者さんに診てもらする必要があります。子どもを守るため、どうすればいいのでしょうか。

手足口病はウイルスに感染することで起きる病気で、幼い子どもを中心に流行します。その名のとおり、手や足、それに口の中に、2ミリほどの発疹ができて、ふだんは楽しみにしているごはんや、大好きな果物を食べるのも嫌になるほど痛がります。まれに、脳炎などの重い症状を起こすこともあります。

手足口病はウイルスに感染すること

ネット上には、子どもが手足口病にかかったという親の声がたくさん投稿されています。目立つのは、激しい痛みで子どもが寝られないというコメントです。

「夜泣きも尋常じゃないくらい凄かった」。「手足口病の口内炎が痛いらしく泣いてあばれて寝てもすぐ起きちゃう」。

また、子どもの患者が地域で増え、働く親からは、病気の子どもの預かる「病児保育」が満員で利用できないといった声もあがっています。

「病児保育も手足口病ばかりで満員」。

さらに、こんな投稿も。「支援センターとかそろそろ行こうかなーと思ってたら手足口病流行ってるから足がまた遠のいてしまう」。

「子育てサロン行こうと思ったけど、保育園と同じ施設にあり、手足口病流行ってるらしくてやめました」。



感染するのが怖くて、自治体の子育て支援を利用できないというわけです。

患者急増 ネットにも相次ぐ投稿

手足口病はウイルスに感染することで起きる病気で、幼い子どもを中心に流行します。その名のとおり、手や足、それに口の中に、2ミリほどの発疹ができて、ふだんは楽しみにしているごはんや、大好きな果物を食べるの

も嫌になるほど痛がります。まれに、脳炎などの重い症状を起こすこともあります。

ネット上には、子どもが手足口病にかかったという親の声がたくさん投稿されています。目立つのは、激しい痛みで子どもが寝られないというコメントです。

「夜泣きも尋常じゃないくらい凄かった」。「手足口病の口内炎が痛いらしく泣いてあばれて寝てもすぐ起きちゃう」。

また、子どもの患者が地域で増え、働く親からは、病気の子どもを預かる「病児保育」が満員で利用できないといった声もあがっています。

「病児保育も手足口病ばかりで満員」。

さらに、こんな投稿も。「支援センターとかそろそろ行こうかなーと思ってたら手足口病流行ってるから足がまた遠のいてしまう」。

「子育てサロン行こうと思ったけど、保育園と同じ施設にあり、手足口病流行ってるらしくてやめました」。

感染するのが怖くて、自治体の子育て支援を利用できないというわけです。



NHK記者の家族も

身近なところでも調べてみました。「最近、子どもが手足口病にかかった人いますか？」

NHK記者の同僚およそ80人にメールで呼びかけたところ、驚くほど次々と連絡が来ました。

「まさにきょう診断。夫婦で順番に仕事を休むしかない」。

「発熱して、翌日から下唇の内側にぶつぶつが。好きなバナナも食べない」。

「保育園のクラスの半分が休んでいる」。

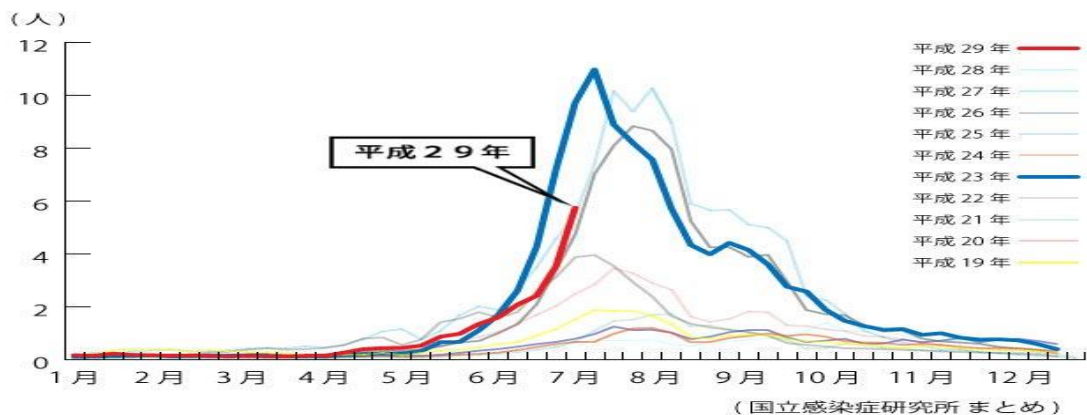
感染が一気に広がっているようです。子どもに続いて自分も感染したという30代の女性記者もいました。

子どもが発熱した数日後、今度は自分が40度の熱。足の裏に複数の発疹が出て、針の上を歩くような痛みを感じたそうです。大人も感染するというので、注意が必要です。

大流行の兆しか

手足口病 流行状況

1 医療機関当たりの患者数



感染はどれほど広がっているのでしょうか。国立感染症研究所によりますと、今月9日までの1週間に、全国およそ3000の小児科の医療機関から報告された患者の数は1万

8151人。前の週からおよそ7000人増えました。

1医療機関当たりの患者数は5.74人で、この10年の同じ時期と比べると患者数が最も多かった6年前、平成23年に次ぐ流行になっています。

都道府県別に見ると、1医療機関当たりの患者数は、高知県が19.1人と最も多く、次いで鳥取県が14.84人、滋賀県が13.66人、宮崎県が13.64人などとなっていて、すべての都道府県で前の週より増えました。

国立感染症研究所の藤本嗣人室長は、「特に2歳以下の報告が多い。このあと2週間から3週間でピークを迎え、大きな流行となった平成23年と同じ規模になるおそれもある」と指摘しています。

大阪・富田林市の小児科の診療所でも、先月から手足口病と診断される子どもが増えています。感染症に詳しい藤岡雅司院長は、「ことしは去年より患者が多い。ことし流行しているウイルスは発疹が手や足の広い範囲にでき、熱も高くなりやすい印象がある」と指摘しています。



髄膜炎や脳炎のおそれも

では、どんな対策ができるのでしょうか。まず、病気のことを少し詳しく説明します。

手足口病は、主にウイルスの付着した手を口元にもっていったり、感染した人のせきやくしゃみを吸い込んだりして感染します。主に5歳以下の子どもが夏場に感染して発症することが多く、特に、免疫を持っていない2歳以下の小さな子どもの間で流行する傾向があります。

ウイルスに感染すると、3日から5日ほどの潜伏期間を経て、手や足、それに口の中に2ミリほどの発疹が出るのが特徴で、発熱することもあります。通常は1週間ほどで回復しますが、まれに髄膜炎や脳炎などを引き起こすこともあり、死亡した例も報告されています。



ことし流行しているウイルスは、平成23年の大流行の時と同じ「コクサッキーA6」と呼ばれるタイプが主流で、症状がおさまった後も、数週間して指の爪がはがれることがあります。

一方、患者からは、割合は少ないものの、脳炎などを起こしやすいとされる「エンテロウイルス71」と呼ばれるタイプも検出されています。

20年前の平成9年には、このウイルスとの関連が指摘される子どもの死亡例が3件報告されるなどして、専門家は注意が必要だとしています。

手洗い・消毒で予防

それでは、感染を防ぐにはどうすればいいのでしょうか。



専門家によりますと、まずは、ほかの感染症と同じように、トイレの後や食事の前などに、せっけんと流水でしっかりと手を洗うことが重要です。

また、感染した人の便からもウイルスが排出されるので、おむつを処理する際は使い捨ての手袋を使うなどして、ウイルスを周りに広げないように適切に処理することが必要です。

さらに、小さな子どもが集まる場所では、おもちゃやタオルなどを消毒することが有効だということです。



保育園で対策も

0歳から5歳まで、250人余りが通う愛知県豊橋市の保育園も、対策に乗り出しています。子どもたちに手洗いの徹底を呼びかけ、指の間や手首までこすりあわせて入念に洗うことや、ハンカチを使い回さないことなどを指導しているということです。

また、遊び終わったおもちゃは、消毒液に浸したふきんでひとつひとつ拭いてから片づけ、紫外線を使った殺菌装置も導入したということです。

副園長は、「子どもの体調や機嫌を見ながら、異変を早めに察知できるよう努めています」と話しています。

かかってしまったら…

予防策をとったにもかかわらず、かかってしまったらどうすればいいのでしょうか。手足口病には、ウイルスに効果のある治療法やワクチンはなく、症状に応じた対症療法が中心となります。

夏場のこの時期、注意が必要なのは水分補給です。口の中に痛みがあっても、きちんと水分をとることが大切だということです。

さらに、注意が必要な症状があります。

高熱が出る、おう吐や頭痛などを訴える、視線が合わない、呼びかけにこたえない。こんな症状が出た場合は、髄膜炎や脳炎の疑いがあるそうです。専門家は、こうした症状が出たら、すぐに医療機関を受診するよう呼びかけています。

ベトナムの小頭症、ジカ熱が原因 東南アジアで初の確認 朝日新聞 2017年7月20日

ベトナムでジカウイルス感染症（ジカ熱）と新生児の小頭症との関連を確かめたとする論文を長崎大学の研究チームがまとめた。東南アジア地域でのジカ熱が原因とみられる小頭症について、診断データをもとに論文報告されるのは初めてという。英医学誌ランセット・インフェクシャス・ディジーゼズ（電子版）に20日、掲載された。

ジカ熱は蚊が媒介して感染が広がる。論文によると、ベトナムでは昨年からの感染者が増え、今年3月までに23人の感染が確認された。ベトナムから日本に渡航した人の感染も確認されている。

研究チームは、ベトナム中部ダクラク省で昨年6月に生まれた小頭症児やその母親、家族から採血し、感染を確認。近くに住む17人からも採血したところ2人が陽性で、地域流行が確かめられた。小頭症児の脳のCT画像や母親が妊娠中期に発熱や発疹の症状があったことから、小頭症がジカウイルスによるものだと結論づけた。東南アジアではタイでジカ熱が原因とみられる小頭症が報告されていた。

論文をまとめた長崎大学熱帯医学研究所のモイ・メンリン准教授（ウイルス学）は「東南アジアでもジカ熱による小頭症児の出生が確かめられた。渡航者の蚊よけや、妊娠予定のある人は流行国への渡航を控えるなどの対策をとってほしい」と話している。（小川裕介）

行政が何度も治安改善に失敗した「大阪あいりん地区」、外国人の観光地化で治安改善

共同通信 2017年7月18日

新今宮駅前（「Wikipedia」より）



大阪府大阪市西成区の北部は、通称「あいりん地区」と呼ばれる。音に聞こえたドヤ街だが、ここ数年、その様子が変わりつつある。

周辺住民が「外国人が増えて、治安がよくなった」と口をそろえて言うようになったのだ。外国人が安い住宅を求めて西成区に集まり、地域消費が活性化。求人の好転などで、治安が向上したという。

さらに今年4月には、星野リゾートがあいりん地区にホテルを建設する計画を発表して大きな話題となった。意外すぎる「ドヤ街のインバウンド効果」について、現地レポートをお届けしよう。

●なぜ酔っぱらいの街に？あいりん地区の歴史

今、JR大阪環状線・新今宮駅周辺がにわかに賑わいを見せている。

同駅は南海本線も乗り入れているため、関西国際空港からも好アクセスだ。大阪有数の繁華街・ミナミにも1駅で行ける。JRを使えば、あべのハルカスが建つ天王寺も、同じように1駅で出られる。

もともと、大阪でも屈指の好立地なのだ。だが、これまでは駅南側にあいりん地区が広がっていることが、最大の“ネック”だった。日雇い労働者が多く集まることから、治安のいい場所ではないといわれてきた。

一説によれば、この地域は江戸時代からスラム街的な性格を帯びていたともいわれているが、基本的に街の歴史は高度経済成長期が原点だ。道路や橋といったインフラ整備のために、大阪経済圏は大量の労働者を必要とした。

そして、安価な労働力が集積する「窓口」として、あいりん地区は機能してきた。東京では、「山谷」が近似した歴史を持つ。ちなみに、旧来は「釜ヶ崎」とも呼ばれ、こちらのほうがなじみ深いという人も少なくないだろう。あいりん地区という呼称が決められたのは、1960年代からだ。

あいりん地区が活況を呈したのは、千里ニュータウンが開発され、70年に大阪で日本万国博覧会が開催された時期からだろう。地方から大阪に仕事を求めて来た人々は、あいりん地区に集結。雇用側は労働者をピックアップしていくが、なかには仕事にあぶれる者も少なくない。彼らの一部は、徒歩圏のジャンジャン横丁から新世界（浪速区）に足を向ける。そこでは、そうした人たちを相手に、日中から酒が供給される。

元来、映画館や演芸場が軒を連ねていた新世界だが、いつしか足元のおぼつかない酔っぱらいの姿が多くなった。さらに、違法薬物なども彼らを標的にした。いつしか、通天閣を中心とした新世界は、そうした酔いどれやホームレスたちが席卷する街となった。

これで治安が悪くならないほうがおかしい。大阪市は、何度もあいりん地区や新世界のクリーン化を図った。近接する動物園前にフェスティバルゲート（ジェットコースターを有する複合施設）やスパワールド（温泉とプール）などを建設。また、西成区と近接する阿倍野区の再開発を図るため、巨額の費用を投じた。こうした取り組みは一時的にはカンフル剤となったようにも見えたが、思うほどの効果は上がらなかった。

●外国人旅行者に重宝される 1000円の簡易宿泊所

21世紀に入っても、あいりん地区は大阪人でさえ、あまり足を向けない街だったのだ。ところが近年、行政も地域住民もまったく想像すらしていなかった方法で、街の活性化が

進みつつある。

外国人旅行者の急増が、その背景にある。新今宮駅のホームからも見えるが、あいりん地区には簡易宿泊所が多い。かつては日雇い労働者が住んでいたこともあり、現在でも「1泊1000円」「1泊3000円」という格安宿泊費も珍しくない。

それを知った外国人バックパッカーが、あいりん地区の簡易宿泊所を利用するようになったのだ。宿泊所の平均像は、シャワーやトイレは共同だが、エアコンやWi-Fiは完備されている。宿泊費も含め、彼らの要求レベルを十分に満たしているのだ。

昨今のあいりん地区では、東南アジアからと思われる旅行者を中心に、外国人が大きなキャリーバッグを引きずりながら歩く光景が当たり前になっている。彼らは総じて若い世代であり、カラフルな出で立ちで、くたびれた労働者の街を闊歩する。その姿は、日本人である私たちに強い印象を与える。

宿泊施設が賑わい、観光客が増えると、近隣の飲食店や雑貨店にも外国人観光客が流入する。街の賑わいこそ、治安改善の特効薬だ。おまけに日雇い労働者の高齢化も進み、かつてほどの存在感はない。すると、近隣の大阪市民も街を見直すようになってくる。好循環が始まったのだ。

高級旅館などを運営する星野リゾートの進出計画が発表されたことも、街にとっては追い風になっている。その内容は、新今宮駅の北側に大型観光ホテルを建設するというもの。もともと、大阪市の市有地でおよそ1.4ヘクタールの空き地であった。現在の計画では、温泉施設やカフェなどを有した20階建ての観光ホテルを2022年春にオープン予定だという。

これまで行政がなし得なかった「改善」をもたらしている外国人旅行者。あいりん地区、そして新世界境界は今、大きく変わろうとしている。こんな光景を外国人だけに楽しませるといってはもったいない。古い光景も残る今のうちに、我々日本人も足を運んだほうがよさそうだ。(文=編集部)

生活保護の「扶養義務」を調査へ 井上充昌 朝日新聞 2017年7月20日

生活保護を受けている人を扶養できる可能性のある親族に自治体はどう対応しているのか、厚生労働省が実態調査に乗り出すことになった。扶養する経済力があるのに不適切に扶養義務を逃れている場合の対応について、改善させる狙い。調査は秋までに始める。

厚労省が19日に開かれた自民党の部会で明らかにした。生活保護法では、民法で扶養が義務づけられている親族から援助を受けることが生活保護に「優先して行われる」と規定している。ただ、親族が扶養できるのに生活保護受給者への援助を断った場合でも、受給の判断には影響しない。

一方、生活保護問題対策全国会議事務局長の小久保哲郎弁護士は「調査が保護を受けさせない『水際作戦』に使われ、必要な保護が行き届かなくなる恐れがある」と懸念している。

大学進学に一時金＝生活保護家庭の子支援－厚労省 時事通信 2017年7月20日

厚生労働省は、大学に進学した生活保護受給世帯の子どもに一時金を給付する方向で検討に乗り出した。経済的な理由で大学進学をあきらめることがないよう新生活スタートを後押しする。2018年度の進学者から対象としたい考えで、給付額や制度設計は予算編成過程で決める。

生活保護を受けながら大学に通うことは、原則として認められていない。大学や専修学校に進学した場合、同居していても生活保護の対象から外す「世帯分離」が行われる。世帯分離で保護費が減れば生活は苦しくなり、親の負担を気にして大学進学を断念するケースもある。

このため、親から子への「貧困の連鎖」を防ぐ観点から、世帯分離原則の見直しを求め

る声も上がっている。ただ厚労省は、大学進学は多様な進路選択の一つであることなどから、特別に扱うことは難しいと判断。原則は見直さないが、支援策を打ち出すことにした。

支援策としては、一時金を給付する制度創設とともに、大学進学後も家族と同居している場合について、保護費のうち家賃に当たる「住宅扶助」を減額しないことも検討する。

癒やしアザラシ型／介護者の負担軽減「ハル」／足こぎ車いす 多様な介護ロボット 松江で体験会 /島根

毎日新聞 2017年7月20日



パロに触る来場者ら＝松江市御手船場町のしまね信金で、根岸愛実撮影

しまね信用金庫は13日、松江市内の同信用金庫本店で介護ロボットの展示・体験会を開いた。人手不足が進む介護分野で、活躍する可能性がある介護ロボットを紹介するのが目的。医療関係者や専門学校生ら120人以上が訪れた。展示会には、人の声などに反応するアザラシ型ロボット「パロ」や、介護する人の腰痛リスクを軽減するロボットスーツ「ハル」などの機器7点が並んだ。

贈呈 アサガオ15鉢、船橋市に 知的障害者ら /千葉 毎日新聞 2017年7月20日

船橋市の障害者支援施設「北総育成園」（東庄町）の知的障害者らが11日、同市役所を訪れ、自ら栽培したアサガオ計15鉢を松戸徹市長らに贈った。

同園は20年以上にわたり、7月にアサガオ、11月にはシクラメンを市に贈呈している。今回のアサガオは3月に種をまき、5月末から紫色の花が咲き始めた

戦前・戦後の「キンダーブック」一堂 静岡福祉大で所蔵企画展

静岡新聞 2017年7月20日



貴重な児童書「キンダーブック」の魅力について紹介する小田部館長（中央）＝焼津市の静岡福祉大付属図書館

来場者が手に取ることができるキンダーブックの複製本など

焼津市の静岡福祉大付属図書館バリアフリー文庫で、所蔵する貴重



な児童書の企画展「創刊90年キンダーブックに見る戦後の子どもたち」が11月30日まで開かれている。1937～55年に発刊された児童書「キンダーブック」の原本と複製など約100冊を展示。複製本は手に取って見ることができる。

戦後に復刊された第1号「ムギ」はじめ、日独伊三国同盟をモチーフにしたり、GHQやマッカーサーを取り上げたりした世相を反映した展示物が並ぶ。バリアフリー文庫研究会の大学生らがお薦めの1冊を紹介するコーナーを併設。48年に静岡市から全国発売された保育絵雑誌「あそび」の創刊号も公開している。

開式イベントで、小田部雄次館長は天皇陛下が幼少期に読んでいた事実を紹介した上で「時代ごとの特徴が出ていて面白い」と説明。終戦直後の様子に加え、子どもが豊かな暮らしと平和を願う様子が描かれた書籍の魅力を紹介した。同館担当者は「世代を問わず足を運んでほしい」と話している。

キンダーブックは、27年に国内初の保育絵本としてフレーベル館（東京）が発刊。静岡市出身で「日本の幼児教育の父」と呼ばれた倉橋惣三氏が編集に携わった。

午前9時～午後5時15分。土日、祝日は休館（一部を除く）。問い合わせは同館＜電054（623）7452＞へ。

障害者解雇 220人 事業所方針「経営悪化」一斉閉鎖 倉敷 /岡山

整理解雇のお知らせ

私ども経営陣は、経営不振に陥った中、皆様の雇用を維持するべく経営努力をしていますが、未だ明るい見通しが立っておりません。

最も避けなければいけないことは、皆様に働いていただきながら、それにもかかわらず、その賃金が不払いになることだと考えております。

それを絶対に避けるために、現段階で事業所を閉鎖せざるを得ない、という判断を致しました。

毎日新聞 2017年7月20日
一般社団法人が出した「整理解雇のお知らせ」と題する文書。事業所を閉鎖する理由を説明している＝岡山市北区柳町1で、小林慎撮影

倉敷市内にある障害者の就労継続支援A型事業所5カ所が今月末で一斉に閉鎖され、事業所で働く約220人の障害者に解雇予告が出ていることが、市などへの取材で分かった。事業所は市内

の一般社団法人と関係会社が運営しており、経営悪化を理由に閉鎖すると市に説明している。全国的にも異例な規模の障害者の一斉解雇とみられ、倉敷市やハローワークは対応に追われている。【小林一彦】

市などによると、閉鎖される事業所は2014～17年に開設。

認知症3分の1は予防可能か 欧米の研究グループ NHK ニュース 2017年7月20日

認知症の予防についてイギリスやアメリカなどの研究グループが新たな分析結果をまとめ、認知症になった人のおよそ3分の1は、耳の機能、聴力を維持することや、たばこを吸わないことなどによって予防できたとして各国で対策を強化するよう呼びかけています。

イギリスやアメリカなどの認知症の専門家24人で作る研究グループは、生活習慣の改善や治療によって予防がどれだけ可能か、多くの研究を分析しまとめた結果を20日、医学雑誌ランセットに発表しました。

この中で、研究グループは、脳の認知機能の発達や維持に関わる要因を人生の時期ごとに分析しており、15歳を超える年齢まで教育を受けていれば8%の人が認知症を予防できたとしています。

また、中年期には耳の機能、聴力を維持すれば9%、高齢になって以降ではたばこを吸わないと5%、社会からの孤立を防ぐことができれば2%の人がそれぞれ予防できたということです。こうした要因は合わせて9つあり、すべて取り除くことで、35%の人は認知症の予防が可能だとしていて、予防できない場合でも発症を遅らせることができるとしています。

認知症の人は、おととしの時点で世界に4700万人いて、発展途上国を中心に増加し、2050年には1億3000万人になると推定されています。研究グループの代表は「若い時期からリスク要因を減らすことで、認知症になる人を減らすことができる」として、各国で対策を強化するよう呼びかけています。

月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も
大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行

